

第 12 回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー

テーマ：高活性と高耐久性を両立する触媒を目指して (V)

1. 趣旨概要

触媒学会燃料電池関連触媒研究会では燃料電池に関連した触媒技術を研究対象とし、高活性/高耐久性触媒、低コスト化を含めた触媒合成法、触媒の反応機構と基礎物性、評価/解析技術等、燃料電池用触媒に関する学術情報交換を行っています。新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナーでは燃料電池用電極触媒に関する最近の研究開発状況と今後の展開について講演頂くと同時に、ナイトセッションでは参加者が親しく情報交換するのが大きな特色です。したがって、あらゆる分野からの参加者を歓迎いたします。FCV の市販が開始されましたが、触媒の高活性化と高耐久化を同時に達成することはまだ未達であり、これらを同時に進めることが燃料電池全体の低コスト化と広い普及への鍵となります。

第 12 回宿泊セミナー初日では名古屋大学の永岡先生から「アンモニア合成と水素利用」、新日鐵住金株式会社の飯島氏から「炭素担体の細孔構造が固体高分子形燃料電池の性能に与える影響」、株式会社豊田中央研究所の兒玉氏から「Pt 単結晶モデル電極を用いた Pt-アイオノマ界面現象の検討」、同じく株式会社豊田中央研究所の上高氏から「MgO を鋳型に用いた燃料電池用メソポーラスカーボン担体の検討」について講演して頂きます。

セミナー2 日目では、産業技術総合研究所の朝日氏から「有機物修飾による Pt 系触媒の ORR 活性向上」、弘前大学の千坂先生から「リン・窒素共置換による酸化チタン触媒の高活性化」、筑波大学の武安先生から「窒素ドーピング炭素材料の ORR 活性点」と題して講演して頂きます。

ポスターセッションでは電極触媒に限定せず、燃料電池に関連する研究を広く募集します。学生の方には優秀ポスター賞を用意しておりますので、奮ってご参加ください。

主催：触媒学会（燃料電池関連触媒研究会）、燃料電池開発情報センター、FC 懇談会
協賛：日本表面真空学会、大阪科学技術センター、電池技術委員会、水素エネルギー協会
シンポジウム&宿泊セミナー準備委員会：燃料電池関連触媒研究会世話人有志

2. 開催日時と会場

- ・日時：令和 1 年 11 月 1 日 (金) 12:30～令和 1 年 11 月 2 日 (土) 12:00
- ・会場：〒411-0032 静岡県三島市末広町 21-9 東レ総合研修センター TEL: 055-980-0333
<https://plus.google.com/116295045839993185703/about?gl=jp&hl=ja>

3. 参加申し込み

- ・参加申し込みとポスター発表申し込み締め切り：10 月 17 日 (木) 17:00
- ・発表要旨の締め切り：10 月 18 日 (金) 13:00 (要旨の印刷ができなくなりますので厳守願います)
A4 用紙 1 枚にフリーフォーマットでタイトルと所属を明記の上、下記西村までメールで送付してください。
- ・参加費 (内税)：一般会員 18,000 円、一般非会員 25,000 円、学生 3,000 円、**当日現金払い**、領収書お渡し
- ・宿泊費：7,000 円 (夕食・朝食込み、宿泊施設は研修センター内にあります)、**当日現金払い**、領収書お渡し
- ・参加申し込み方法と問合せ先
氏名、所属、連絡先 (住所、電話、メールアドレス)、宿泊の有無およびポスター発表の有無を明記の上、下記大門までメールでお申し込みください。

同志社大学 大門メールアドレス：rs-dh21@mail.doshisha.ac.jp 電話番号：0774-65-6589

4. セミナー内容

◇ 1日目 11/1 (金)

12:30~12:40 開会の辞

・セッションⅠ 招待講演 (センター棟 7階「70多目的室」)

12:40~13:40 アンモニア合成と水素利用 (名古屋大学 永岡勝俊先生)

13:40~14:40 炭素担体の細孔構造が固体高分子形燃料電池の性能に与える影響 (新日鐵住金飯島 孝氏)

14:40~15:00 休憩

15:00~16:00 Pt単結晶モデル電極を用いたPt-アイオノマ界面現象の検討 (豊田中研 兒玉健作氏)

16:00~17:00 MgOを鋳型に用いた燃料電池用メソポーラスカーボン担体の検討 (豊田中研 上高雄二氏)

17:30~18:30 夕食 (ダイニング棟 2階)

・セッションⅡ (ナイトセッション) ポスター展示 (センター棟 2階「多機能室」)

18:30~21:00 ポスターセッション&自由討議

~22:30 自由討議

◇ 2日目 11/2 (土)

7:30~8:30 朝食 (ダイニング棟 2階)

・セッションⅢ：招待講演 (センター棟 7階「70多目的室」)

8:30~9:30 有機物修飾によるPt系触媒のORR活性向上 (産業技術総合研究所 朝日将史氏)

9:30~10:30 リン・窒素共置換による酸化チタン触媒の高活性化 (弘前大学 千坂光陽先生)

10:30~10:50 休憩

10:50~11:50 窒素ドーパ炭素材料のORR活性点 (筑波大学 武安光太郎先生)

11:50~12:00 閉会の辞

5. 東レ総合研修センターへのアクセス

〒411-0032 静岡県三島市末広町 21-9 TEL: 055-980-0333

JR 三島駅北口より徒歩 12分 タクシーでワンメーター

<https://plus.google.com/116295045839993185703/about?gl=jp&hl=ja>

